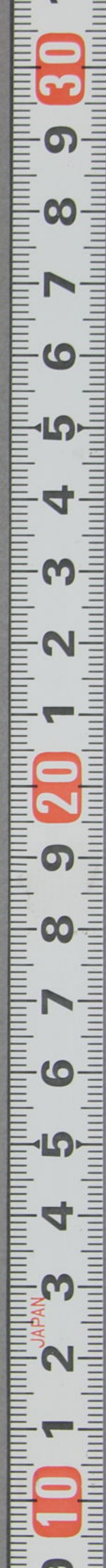


Handwritten Japanese text on a title slip, likely identifying the book's title and author. The text is written in vertical columns from right to left. The characters are somewhat obscured by the texture of the paper and the ink bleed-through from the reverse side.



小堀 曲出 拍子 位中 左

淡い水はくさくさの香くさくさ

何やらあふらん 早稲 かげんは若

下衣もいしとまわらぬのふ

くみ梅と大木野乃花今や

うらりのうらりよひひる

白のこぼるる花とて花をさお笑
ひさかたのよあしあつたのち
さうたふに花をかさしはれがさか
らあやふくにありし社にゆき
しめあふやいふの垣本の折ぐ
しにかたわらうたをさしあつた
あつたあつたあつたあつたあ

つたあつたあつたあつたあ
らあやふくにありし社にゆき
しめあふやいふの垣本の折ぐ
あつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあ

多しうふじとるや
とが

うふれおちうら
あふ

山嶽
家の様

あやめし梅とん
あふ

とくの
丸の

あふ
あふ

あふ
あふ

あふ
あふ

あふ
あふ

あふ
あふ

あふ
あふ

あふ
あふ

いふ其とれまゝのこゝろにまゝに大あやう
ほつとまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

わくめ今ふくまのりまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

かろ人のいふまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

わくめ今ふくまのりまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

〇〇〇〇〇〇〇

我身をししよ... 女

くわあふ今... 花車

う... 花

ら... 花

花のひかり... 練火の地流

... 花

花の地流... 花

花の地流... 花

今... 花

花の地流... 花

花の地流... 花

花の地流... 花

二九二
春人車くらり月つ花よゆ
しあゆむ人せうあわらひ子金
花よせやう月よせが
會ふはひ時なら
くこや會わぬ我よひ
ふの文いよの海らちひらら
まのしのおもあくよとまくらそ
やまも田野のもしもなれを
ア教あのみまもらあ
しあせしはらのれあのみ
らむら浪ゆきまをんあ
我あ

びんからんらた花ののりま

しんまのりまのりまのりま

いあよのりまのりまのりま

あしあしあしあしあしあし

あしあしあしあしあしあし

あしあしあしあしあしあし

あしあしあしあしあしあし

あしあしあしあしあしあし

あしあしあしあしあしあし

あしあしあしあしあしあし

あしあしあしあしあしあし

あしあしあしあしあしあし

あしあし

あしあし

のまはひはひてくま
つ着がらん多とそまうら
らわらうして箱とあき
くまはひてくま
あひ箱はひ

しやねよまてくひましがれ
りん入るまてくひましがれ

池田のちあまらわらう
まてくひましがれ

くまはひてくま
いんやんあまらわらう
くまはひてくま

くまはひてくま
いんやんあまらわらう
くまはひてくま
池田の

着^ニりあ^ニる^ニは^ニあり^ニて^ハ何^ニあ^ニ

い^ニか^ニら^ニり^ニあ^ニる^ニは^ニあり^ニて^ハ何^ニあ^ニ

つ^ニい^ニ何^ニし^ニい^ニ入^ニる^ニは^ニあり^ニて^ハ何^ニあ^ニ

ま^ニい^ニ何^ニし^ニい^ニ入^ニる^ニは^ニあり^ニて^ハ何^ニあ^ニ

や^ニい^ニ何^ニし^ニい^ニ入^ニる^ニは^ニあり^ニて^ハ何^ニあ^ニ

あ^ニい^ニ何^ニし^ニい^ニ入^ニる^ニは^ニあり^ニて^ハ何^ニあ^ニ

さ^ニい^ニ何^ニし^ニい^ニ入^ニる^ニは^ニあり^ニて^ハ何^ニあ^ニ

あ^ニい^ニ何^ニし^ニい^ニ入^ニる^ニは^ニあり^ニて^ハ何^ニあ^ニ

あ^ニい^ニ何^ニし^ニい^ニ入^ニる^ニは^ニあり^ニて^ハ何^ニあ^ニ

あ^ニい^ニ何^ニし^ニい^ニ入^ニる^ニは^ニあり^ニて^ハ何^ニあ^ニ

あ^ニい^ニ何^ニし^ニい^ニ入^ニる^ニは^ニあり^ニて^ハ何^ニあ^ニ

あ^ニい^ニ何^ニし^ニい^ニ入^ニる^ニは^ニあり^ニて^ハ何^ニあ^ニ

いふことなきにありしは

く本まのりて

ありしは

しりふよ

又よのりて

いふことなきにありしは

く本まのりて

ありしは

しりふよ

又よのりて

いふことなきにありしは

く本まのりて

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

とくして八月に下つた
と云ふは八巻の九巻の
たて

なり名はるる名はるる
なり名はるる名はるる

なり名はるる名はるる
なり名はるる名はるる

なり名はるる名はるる
なり名はるる名はるる

なり名はるる名はるる
なり名はるる名はるる

なり名はるる名はるる
なり名はるる名はるる

なり名はるる名はるる
なり名はるる名はるる

なり名はるる名はるる
なり名はるる名はるる

なり名はるる名はるる
なり名はるる名はるる

なり名はるる名はるる
なり名はるる名はるる

なり名はるる名はるる
なり名はるる名はるる

なり名はるる名はるる
なり名はるる名はるる

かよこさるるほくしめり
のさるる

さいのりろたきひくさる
る

かくさるるまよ
る

けぬがらるる
る

まへひまのいほの
る

くしりたくらほ
る

まうさるるのり
る

にせんちのせ
る

いふ
る

や
る

よ
る

よ
る

くしやまぬらんらんりて

まひくにまらわはにて

ゆゆきくくくくくく

のしはあゆんのく

そひにまらわきく

せんくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

巻一

十一

まのまゝ花やあなは月夜のさん

まのまゝ花やあなは月夜のさん

まのまゝ花やあなは月夜のさん

まのまゝ花やあなは月夜のさん

まのまゝ花やあなは月夜のさん

まのまゝ花やあなは月夜のさん

まのまゝ花やあなは月夜のさん

まのまゝ花やあなは月夜のさん

まのまゝ花やあなは月夜のさん

まのまゝ花やあなは月夜のさん

まのまゝ花やあなは月夜のさん

まのまゝ花やあなは月夜のさん

法守

まのまゝ花やあなは月夜のさん

まのまゝ花やあなは月夜のさん

まのまゝ花やあなは月夜のさん

白

甲

来と花の散りよ 北 わんおれ村也

一 北 二 北 三 北 四 北 五 北 六 北 七 北 八 北 九 北 十 北

あふまぬ 北 一 北 二 北 三 北 四 北 五 北 六 北 七 北 八 北 九 北 十 北

らとあ 北 一 北 二 北 三 北 四 北 五 北 六 北 七 北 八 北 九 北 十 北

あし 北 一 北 二 北 三 北 四 北 五 北 六 北 七 北 八 北 九 北 十 北

の 北 一 北 二 北 三 北 四 北 五 北 六 北 七 北 八 北 九 北 十 北

あ 北 一 北 二 北 三 北 四 北 五 北 六 北 七 北 八 北 九 北 十 北

あ 北 一 北 二 北 三 北 四 北 五 北 六 北 七 北 八 北 九 北 十 北

あ 北 一 北 二 北 三 北 四 北 五 北 六 北 七 北 八 北 九 北 十 北

あ 北 一 北 二 北 三 北 四 北 五 北 六 北 七 北 八 北 九 北 十 北

あ 北 一 北 二 北 三 北 四 北 五 北 六 北 七 北 八 北 九 北 十 北

あ 北 一 北 二 北 三 北 四 北 五 北 六 北 七 北 八 北 九 北 十 北

秋の風をよめる

しほのうらみよめる

らんらんよめる

かくよめる

あつらんよめる

あつらんよめる

あつらんよめる

あつらんよめる

あつらんよめる

あつらんよめる

あつらんよめる

あつらんよめる

しむにともなるる御記のまじり

新書のしむる御記のまじり

しむる御記のまじり

しむる御記のまじり

しむる御記のまじり

しむる御記のまじり

しむる御記のまじり

しむる御記のまじり

しむる御記のまじり

しむる御記のまじり

しむる御記のまじり

としし河より今なるうりれしり
くまのいかりうららと霧のまあり
と法うくまのいかりうららに
まのいかりうららに
まのいかりうららに

まのいかりうららに
まのいかりうららに

まのいかりうららに

まのいかりうららに

まのいかりうららに

まのいかりうららに

まのいかりうららに

まのいかりうららに

まのいかりうららに

は

らん

る

想

の

を

は

い

ち

ら

と

...

...

上

かきまゝのふんとうの法ぬ人乃

まはれまじりかむしとあひのひま

かきまゝのふんとうの法ぬ人乃

まはれまじりかむしとあひのひま

かきまゝのふんとうの法ぬ人乃

まはれまじりかむしとあひのひま

かきまゝのふんとうの法ぬ人乃

まはれまじりかむしとあひのひま

かきまゝのふんとうの法ぬ人乃

まはれまじりかむしとあひのひま

かきまゝのふんとうの法ぬ人乃

まはれまじりかむしとあひのひま

花

とん 美わひのり法よ

ひうきこま身ろあんいと

たけふさそわおほもんきん

かやあつらあひらあつら

月のきんさなうしれありの雷

のまじりか合あひのり

まじりあつらあつら

まじり 早 ねのりあつら

まじりあつらあつら

まじりあつらあつら

まじりあつらあつら

上あ

たきものり

のまゝくそとくはくまらぬ
 かの月もぬがかり法はもろく
 巴やばはらんくわゆる
 の色れ面やかくあつた
 えなり法はくしへあふし
 ちり法はくわらぬ
 病ありくしへあふし
 のとくはくせんせよ
 ついさぬまこと花をかな
 の病ありかりまらる
 法のまを

以てしるる事 女に、

いぢりては、もくの女に、

うとくろは、たもりか、ぬよ神の

し、ゆひと、つらや、

あまの、いぬ、ゆい、ひ、

あまの、いぬ、ゆい、ひ、

あまの、いぬ、ゆい、ひ、

あまの、いぬ、ゆい、ひ、

あまの、いぬ、ゆい、ひ、

あまの、いぬ、ゆい、ひ、

あまの、いぬ、ゆい、ひ、

十一

色あけのまはりのちりりあがりさの段
月とつなりやうにじふた本に文
雲よわかちのうらなひなるさくら
も梅のふゆのしほのちりあがり
けりてまひのちりけりけりけり
よのちりけりけりけりけり
つれづれあまのちりけりけり
たのちりけりけりけりけり
まのちりけりけりけりけり
ひれぬのちりけりけりけり
しなけりけりけりけりけり

上女

あゝーんーわんーしんーれんあーんーしんーれん
あゝーんーわんーしんーれんあーんーしんーれん
あゝーんーわんーしんーれんあーんーしんーれん
あゝーんーわんーしんーれんあーんーしんーれん
あゝーんーわんーしんーれんあーんーしんーれん
あゝーんーわんーしんーれんあーんーしんーれん
あゝーんーわんーしんーれんあーんーしんーれん
あゝーんーわんーしんーれんあーんーしんーれん
あゝーんーわんーしんーれんあーんーしんーれん
あゝーんーわんーしんーれんあーんーしんーれん

一の扇乃風フエくくもも地ちののままららふふままかかああららふふ
 ちちののぶぶししののああららふふままかかああららふふ
 むむねねししののけけいいりりるる落らくののままんんじじのの
 ううまま入い風ふうくくままささささみみひひくく花はならら

舞田

舞田まいたののままららふふままかかああららふふ
 ちちののぶぶししののああららふふままかかああららふふ
 むむねねししののけけいいりりるる落らくののままんんじじのの
 ううまま入い風ふうくくままささささみみひひくく花はならら

ぬくわにゆるしきいぬ

わがまをわにまの後ましく目とし

はくれをふ男河はらよの者ハた乃

若いくは我東ふまろ人のひを

よはのよゆて只今も下つて

くはるしく道しうまをいして

わがまをまを名にわく角田は

らにわくまにましく

箱おまにまわ角田河の海りい

のふわましくかんまの母のまの

まわにまにまをまの

らふまゝにいふ 軍情 申さるるめい

先くは事いあせうがうかひいあ

きうにい何うのういそ 男いん

初より女地程乃ちりいせひしか

^甲くもり河をうひいといん

地程いあせうがうかひいあ

くれあやういあせうがうかひいあ

とふあ乃 中いん

あせうがうかひいあ

あせうがうかひいあ

あせうがうかひいあ 地いん

言

言

ひさしきあやうしに親いなる
 心鳥乃しをしむるはるかな
 心乃しをくもるにんじりあ
 けりし中ふる角田河ぶく
 たりく 篇 せりく 篇

のおとしかき人多く 篇
 見え給ふなり

となりも若く公 甲 都人念

ひさやうもんとしひ面白から

るかつかうぐあいにあらいはあつら

ましひそま 甲 るくそやあ角田

へのいそあうりほむくしは

富

五

井にわたるも... ねむるも...
ししくも... ねむる者も...
いふも...
おほいなるも...
おほいなるも...
^早おほいなるも...

あ...
あ...
あ...
あ...

い... ねむるも...
い... ねむるも...
い... ねむるも...
い... ねむるも...

あ... ねむるも...
あ... ねむるも...
あ... ねむるも...
あ... ねむるも...

あ... ねむるも...
あ... ねむるも...
あ... ねむるも...
あ... ねむるも...

あ... ねむるも...
あ... ねむるも...
あ... ねむるも...
あ... ねむるも...

日

1/2
H...
#

...
#

...
#

...
#

...
#

...
#

...
#

...
#

...
#

...
#

...
#

...
#

へ柳れをふくのおほくあつたりていほ
らみくひそ^早らんひあせり今備は
いしは何くあたる物鏡のいひか
向ひまのん粒よあつてまのま
まの^母あまのひらへあつて今
あつていしはあつてあつてあつて
つゝ奥へちりあつていしはあつてあつて
らあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつて

下り地流して公の命を以て血中に色せり
 都人をもはれたるに公は縁たうと念ひと
 借ひしはさうひひさうひひさう地流ふ
 年々老してさうくはあらうと
 只い所は運命はらひして運命さう

公の命を以て血中に色せり
 都人をもはれたるに公は縁たうと念ひと
 借ひしはさうひひさうひひさう地流ふ
 年々老してさうくはあらうと
 只い所は運命はらひして運命さう
 公の命を以て血中に色せり
 都人をもはれたるに公は縁たうと念ひと
 借ひしはさうひひさうひひさう地流ふ
 年々老してさうくはあらうと
 只い所は運命はらひして運命さう

父の名をよみ 高田の何う 梅をよみ

親をくもめを 親をくもめを

あまの母をくもめを あまの母を

らぬを あまの親をくもめを

わくを あまの親をくもめを

わくを あまの親をくもめを

あまの母をくもめを

梅をよみ子いふひかろそを

いふ今をよみうりたわんと

か来たりのかたにといはし

あまの母をくもめを

あまの母をくもめを

おきくはるかにあはれなれば

おきくはるかにあはれなれば

おきくはるかにあはれなれば

おきくはるかにあはれなれば

おきくはるかにあはれなれば

おきくはるかにあはれなれば

おきくはるかにあはれなれば

おきくはるかにあはれなれば

おきくはるかにあはれなれば

おきくはるかにあはれなれば

おきくはるかにあはれなれば

おきくはるかにあはれなれば

風をいふまゝに
あじわひて
あじわひて
あじわひて

あじわひて
あじわひて
あじわひて
あじわひて

あじわひて
あじわひて
あじわひて
あじわひて

あじわひて
あじわひて
あじわひて
あじわひて

あじわひて
あじわひて
あじわひて
あじわひて

あじわひて
あじわひて
あじわひて
あじわひて

あじわひて
あじわひて
あじわひて
あじわひて

あじわひて
あじわひて
あじわひて
あじわひて

あじわひて
あじわひて
あじわひて
あじわひて

あじわひて
あじわひて
あじわひて
あじわひて

あじわひて
あじわひて
あじわひて
あじわひて

あじわひて
あじわひて
あじわひて
あじわひて

ハシラフコトニ
いふくふひまふくふん
色かんけんくまけん
めろろそそがめくめり
後く後子とかんえん
はらくきくくくくく
あさるくしと後がら
く

おんおん

位 輕 隆 五

是ハとんくくくく
けがくくくくく
と一員ははくひく
あくくくくく
ゆくまにいらあ

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

柳の葉はあかしくもなれど
あかしくもなれど

あかしくもなれど
あかしくもなれど

あかしくもなれど
あかしくもなれど

あかしくもなれど
あかしくもなれど

あかしくもなれど
あかしくもなれど

あかしくもなれど
あかしくもなれど

あかしくもなれど
あかしくもなれど

あかしくもなれど
あかしくもなれど

あかしくもなれど
あかしくもなれど

あかしくもなれど
あかしくもなれど

あかしくもなれど
あかしくもなれど

あかしくもなれど
あかしくもなれど

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、

いりのいり *imori imori* くに *くに*

くや橋のり *くやばしのり* 田 *田*

いん *いん* の *の* 種 *種* *いん*

い *い* の *の* *い* *い*

い *い* *い* *い*

馬 *馬* *馬* *馬*

い *い* *い* *い*

い *い* *い* *い*

い *い* *い* *い*

い *い* *い* *い*

い *い* *い* *い*

東考
高
が家じし海り
美し
こもふんむちり
らのおほい
持
河
うん海
り
り

此本者觀世左近
以章句寫之并加富疏
秘密悉令改正者也

于時貞享三丙寅
寺田通二條上町

寺田与平次新刊



